

## ムラサキシキブ (シソ科)

花びらは4裂する  
雄しべは4本  
花も実も紫色

葉は対になって付く対生

若い枝には星状毛があるが  
じきに落ちて無毛になる

鉢植えて売られているものは  
近縁種のコムラサキである  
ことが多い

公益財団法人 多摩市文化振興財団撮影

## ヤブムラサキ (シソ科)

特に花のまわりは毛深く、  
星状毛や羽状毛がたくさん  
生えている

金を取り込む特徴があり、  
金の鉢脈探しの指標に  
なりうる

枝や葉など、全体的に  
毛深い

公益財団法人 多摩市文化振興財団撮影

まれに、ムラサキシキブとの  
雑種、イヌムラサキシキブが  
見られる

## ドクダミ (ドクダミ科)

さまざまな効果のある薬草で、  
十薬という名で知られる

雌しべ1本  
柱頭は3裂  
雄しべ3本

これが1つの花

たくさんの花が  
集まった穂

これは花びらではなく総苞

草をちぎると強烈なおいがあるが、  
中国南部やベトナムでは食用とする

公益財団法人 多摩市文化振興財団撮影

## ヒメヤブラン (キジカクシ科)

明るくて草丈の低い  
草地に生える

花被片は6枚  
雄しべは6本  
雌しべは1本

葉先は丸い

花は1センチ程度だが  
草丈が低いので大きく見える

公益財団法人 多摩市文化振興財団撮影

PARTHENON  
TAMA

パルテノン多摩 歴史ミュージアム

# ここで植物観察 その③

みんなの植物観察会：令和元年（2019）6月 日野市程久保

昨年の植物観察会で観察した植物をシリーズで紹介します。#コロナに負けるな #エア博物館 #エア植物観察  
お問い合わせ：公益財団法人多摩市文化振興財団（パルテノン多摩）TEL：042-375-1414

## ギンリョウソウ (ツツジ科)

これらは花びら  
ではなく萼(がく)

真っ白な姿から  
別名はユウレイタケ

光合成はせず、土中の  
菌類から栄養をもらって  
成長する

実が熟すと、モリチャバネゴキブリが食べ、  
ゴキブリが糞をすることで、種子が運ばれる

公益財団法人 多摩市文化振興財団撮影

## ヤマアジサイ (アジサイ科)

甘味成分を含む  
ものがあり  
甘茶として  
利用される

こちらの花には  
雄しべ(5本)と  
雌しべ(1本)がある

これは飾りの花で、  
生殖能力はない  
花びらっぽいのは萼

東日本のヤマアジサイは  
花の色が白いが、  
西日本のものは青色など  
色がついている

公益財団法人 多摩市文化振興財団撮影